

第12章 Cascading Style Sheet(CSS)の活用

HTML は Web ページを装飾する役割も担ってきました。各種タグのプロパティが追加されてきたのもそのためです。

しかし、元々HTML は Web ページの構成を示すものであって、デザインのために発明されたものではありませんでした。

とはいえ、デザインも重要です。そこで装飾のために CSS(Cascading Style Sheet) と呼ばれる機構が取り入れられました。これを使うと従来のタグに頼った手法では不可能な細かい装飾が可能になります。ここではその機能の一端に触れてみることにします。

12.1 CSS とは?

もともと HTML は文書の構造を記述するものとして発明されました。その後、特にセルごとに色づけは背景画像を指定できるテーブルの機能をデザインを表現する手段として多用されるようになり、タグのプロパティの種類もデザインのための手段を提供するために増えてきました。しかし、その反面、タグの原点である「文書構造」を表わす役割との切り分けが難しくなってきました。

そこで、もっと細かいレベルの調整ができ、なおかつタグのプロパティには頼らない仕組みが導入されました。それがスタイルシート (Style Sheet) です。タグや文書全体の表示形式を細かく指定でき、複数のスタイルシートを入れ子 (Cascading) にして使用できるため、CSS(Cascading Style Sheet) と呼ばれます。

スタイルシートの記述は、HTML のタグと同様、テキストの形式で指定します。その方法は3つあります。

- HTML ファイルに記述されたタグそれぞれに指定するスタイルを埋め込む
- HTML ファイルのヘッダに、`<style type="text/css">...</style>`で囲んだ部分へ埋め込む
- スタイルシートを記述した CSS ファイルを作成し、ヘッダで`<link>`タグを用いてその CSS ファイルを読み込む

最初に挙げた、タグごとにスタイルを埋め込む形式は、よほどのことが無い限り使用しない方が良いでしょう。後々再利用することを考えるのであれば、ヘッダに記述する形式が望ましく、できれば別ファイルにしておくことが最良ではないでしょうか。

2 番目のヘッダにスタイルを埋め込む形式を次の節で、その後で別の CSS ファイルを利用する例を見ていくことにしましょう。

12.2 長文を読みやすくする

ここでは次の文章を読みやすく見せるための Web ページを作ってみましょう。

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

(日本国憲法前文 [13])

これを普通の Web に流し込んでみると図 12.1 のようになります。長文だとぎっちり文章が詰まってしまう、かなり読みづらくなります。

これを修正するために CSS の機能を使ってみます。次のタグを HTML ファイルのヘッダ部分に挿入してみましょう。

```
<style type="text/css">
  H1 {
    color: blue;
    background-color: red;
  }
  DIV.kenpo {
    margin-left: 10%;
    margin-right: 10%;
    line-height: 1.5em;
  }
</style>
```

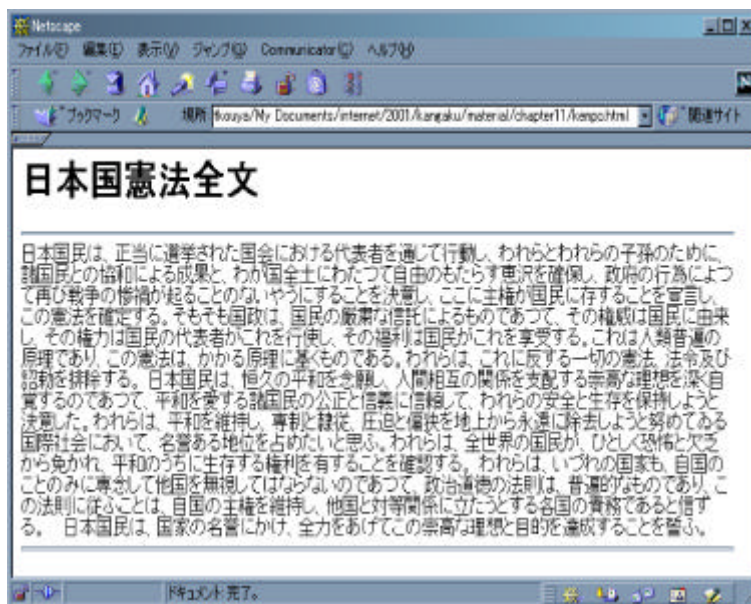


図 12.1: 日本国憲法全文 (CSS 指定なし)

ご覧のようにそれぞれのタグの装飾を決めています。<div>タグの指定は<div class="kenpo">のようにクラスを使っていますので、この様式を使いたいときにはこのように書かなければなりません。

以上の変更を加え、長文を<div class="kenpo">でくくると図 12.2 のように、左右マージンが入り、行間が広く開き、読みやすくなります。

このように、タグだけでは実現できない細かいデザインの指定が出来るようになっていきます。

12.3 CSS ファイルを作成する

もう少し大きなスタイル指定を行うには、別ファイルにして読み込むようにします。例えば図 12.3 のようなスタイルシートをテキストファイルで作成し、“book.css”という名前で保存しておくとして。スタイルシートは必ず“css”という拡張子で作成して下さい。この例では、H1～H5 タグ、PRE、BLOCKQUOTE、A タグのスタイルを規定しています。英語が判別できればどのような指定をしているか、ある程度類推出来ますよね？

このスタイルファイルを使うには、HTML ファイルのヘッダ部分に

```
<head>
...
  <link rel="stylesheet" type="text/css" href="book.css">
...
</head>
```

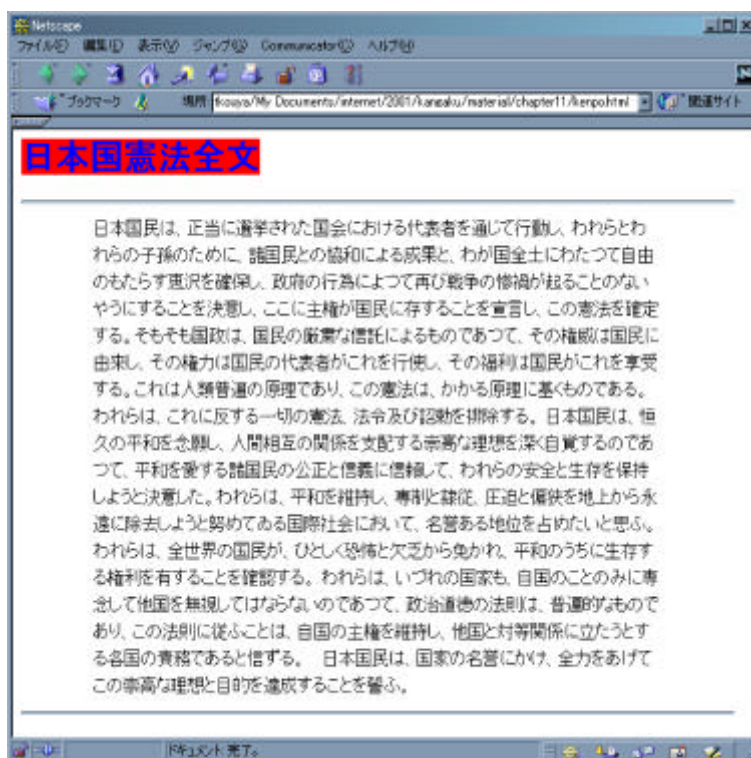


図 12.2: 日本国憲法 (CSS で装飾指定あり)

```
/* スタイルシートの例 */
/* 99999999 幸谷智紀 */

/* H1 タグのスタイル */
H1 {
color: blue;
/* background-color: red; */
border: 3px dashed green;
width: 70%;
}

/* H2~H5 タグのスタイル */
H2, H3, H4, H5 {
border: double;
border-left: 10pt solid red;
width: 50%;
}

/* PRE, BLOCKQUOTE タグのスタイル */
PRE, BLOCKQUOTE {
font-size: 12pt;
margin-left: 10%;
margin-right: 10%;
line-height: 1.5em;
}

/* リンクのスタイル */
A:link{
background: #00ff0f;
}

/* 一度表示したリンクのスタイル */
A:visited{
background: #ffff0f;
}
```

図 12.3: book.css

と記述します。この場合は、この HTML ファイルと book.css ファイルが同じディレクトリ (フォルダ) に存在していると仮定しています。

このスタイルシートを使うと、図 12.4 のような表示が可能です。

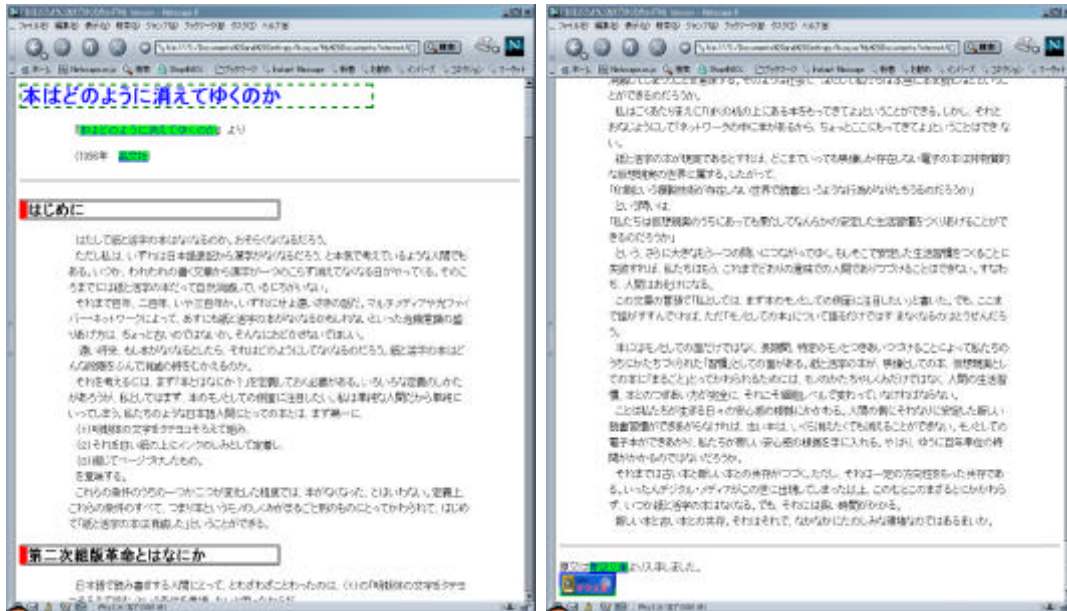


図 12.4: book.css を使用した Web ページの例

タグのプロパティだけでは制御できない細かい表示設定が、スタイルシートを使うことで可能になります。是非、使いこなせるようになって下さい。

練習問題

1. 図 12.3 に示したスタイルシートは、ブラウザのバージョンや種類によって表示のされ方が異なる。Internet Explorer ではどのように表示されるか、また Netscape Navigator でも Ver. 4.x 系と 6.x 系ではどのように異なるかを調べよ。

総合課題2

青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>、図 12.5) から、自分の好きな文学作品を選び、読みやすく加工して(但し、文章そのものに変更を加えてはならない)、今まで使用してきたテクニック全てを駆使して Web ページ上に提示せよ。あまり長いものを選ばず、短編(例えばポーの「黒猫」など)を使うと良い。

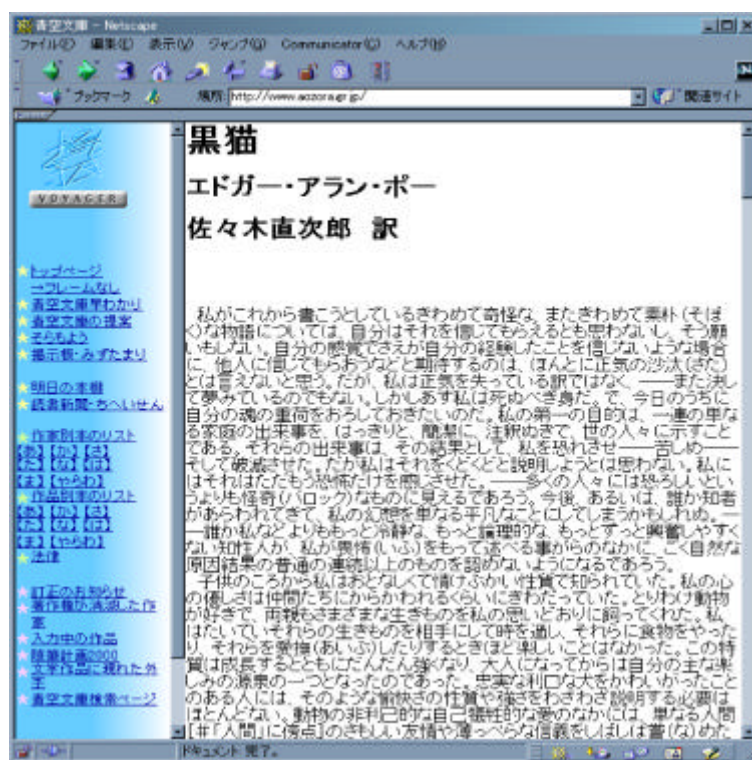


図 12.5: 青空文庫の「黒猫」